

# 平成27年5月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年1月9日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社アイケイ  
 コード番号 2722 URL <http://www.ai-kei.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長  
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 管理統括  
 四半期報告書提出予定日 平成27年1月14日  
 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 飯田 裕  
 (氏名) 高橋 伸宜

TEL 052-856-3101

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成27年5月期第2四半期の連結業績(平成26年6月1日～平成26年11月30日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年5月期第2四半期	5,590	△3.8	△77	—	△78	—	△97	—
26年5月期第2四半期	5,808	△2.8	△3	—	△5	—	△55	—

(注) 包括利益 27年5月期第2四半期 △97百万円 (—%) 26年5月期第2四半期 △55百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年5月期第2四半期	△53.64	—
26年5月期第2四半期	△31.59	—

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
27年5月期第2四半期	4,702	1,420	30.2	762.51
26年5月期	4,425	1,480	33.4	831.98

(参考) 自己資本 27年5月期第2四半期 1,420百万円 26年5月期 1,480百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年5月期	—	0.00	—	18.00	18.00
27年5月期	—	0.00	—	—	—
27年5月期(予想)	—	—	—	18.00	18.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 平成27年5月期の連結業績予想(平成26年6月1日～平成27年5月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	12,100	1.2	120	14.3	120	△15.5	25	—	13.59

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有  
新規 1社 (社名) 株式会社プライムダイレクト、除外 1社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	27年5月期2Q	1,952,000 株	26年5月期	1,952,000 株
② 期末自己株式数	27年5月期2Q	88,900 株	26年5月期	172,900 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	27年5月期2Q	1,816,739 株	26年5月期2Q	1,761,067 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料における予想数値及び将来に関する記述は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、経営環境の変化等により、本資料の予想数値または将来に関する記述と異なる場合があります。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府の経済政策や日銀の金融緩和政策等を背景に企業収益や雇用情勢に改善が見られ、景気は緩やかな回復基調となりました。しかしながら、消費税増税や円安進行による物価上昇の影響により個人消費は低迷しており、国内景気の先行きは引き続き不透明が続いております。

このような状況の下、当社グループはリーディングカンパニーの最大条件を「ファンの多さ」と定義づけ「ファンづくり」を経営最大のテーマとして経営理念の実践を重ねております。

当第2四半期連結累計期間におきまして、メーカーベンダー事業では、「とことん仕事」「とことん営業」「とことん開発」を年度テーマの1つとして掲げ、自己の仕事に対して求められる成果をコミットメントする仕事姿勢に取り組んでまいりました。また、売上に占める自社開発商品の売上比率を高めるために、管理指標として開発商品の初年度売上高寄与率を新たに設定し、開発商品の売上向上に取り組んでまいりました。

SKINFOOD事業では、「ルミネ新宿店」と「名古屋パルコ店」をリニューアルオープンいたしましたほか、モール型量販店への初出店となる「イオンモール名古屋茶屋店」及び期間限定店「マルイシティ横浜店」を出店いたしました一方、不採算店2店及び出店期間限定店1店を閉鎖いたしました結果、当第2四半期連結会計期間末の店舗数は直営店23店舗（前年同期末26店舗）、FC店1店舗（前年同期末1店舗）の24店舗（前年同期末27店舗）となりました。

ITソリューション事業では、新商品の「Mobile First Box Access（クラウド電話帳ソリューション）」販売開始に向け、販売体制を強化するため業務提携を推し進めるとともに、通話録音システム「VOISTORE」の販売に取り組んでまいりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高5,590百万円（前年同四半期比3.8%減）、営業損失77百万円（前年同四半期は3百万円の営業損失）、経常損失78百万円（前年同四半期は5百万円の経常損失）、四半期純損失97百万円（前年同四半期は55百万円の四半期純損失）となりました。

各セグメントの業績は次のとおりです。なお、第1四半期連結会計期間から、従来「通信販売事業」としていた報告セグメントを「メーカーベンダー事業」へ、「CRMソリューション事業」としていた報告セグメントを「ITソリューション事業」へ、それぞれ名称変更しております。この名称変更によるセグメント情報に与える影響はありません。

## &lt;メーカーベンダー事業&gt;

売上高は5,007百万円（前年同四半期比1.6%減）となり、営業利益は18百万円（前年同四半期比77.4%減）となりました。

## &lt;SKINFOOD事業&gt;

売上高は493百万円（前年同四半期比21.7%減）となり、営業損失は38百万円（前年同四半期は54百万円の営業損失）となりました。

## &lt;ITソリューション事業&gt;

売上高は89百万円（前年同四半期比2.5%増）となり、営業損失は55百万円（前年同四半期は31百万円の営業損失）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## (資産)

当第2四半期連結会計期間末の流動資産につきましては、前連結会計年度末に比べ206百万円増加しました。

主な流動資産の変動は、「受取手形及び売掛金」が193百万円、「商品及び製品」が21百万円、それぞれ増加し、「その他」が9百万円減少したことによります。

当第2四半期連結会計期間末の固定資産につきましては、前連結会計年度末に比べ71百万円増加しました。

主な固定資産の変動は、「有形固定資産」が7百万円、「無形固定資産」が60百万円、それぞれ増加したことによります。この結果、当第2四半期連結会計期間末の総資産は4,702百万円となり、前連結会計年度末に比べ277百万円増加しました。

## (負債)

当第2四半期連結会計期間末の流動負債につきましては、前連結会計年度末に比べ331百万円増加しました。主な流動負債の変動は、「買掛金」が46百万円減少し、「短期借入金」が280百万円増加したことによります。

当第2四半期連結会計期間末の固定負債につきましては、前連結会計年度末に比べ5百万円増加しました。

主な固定負債の変動は、「その他」が4百万円増加したことによります。この結果、当第2四半期連結会計期間末の負債は3,282百万円となり、前連結会計年度末に比べ337百万円増加しました。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末の純資産につきましては、前連結会計年度末に比べ59百万円減少しました。

主な純資産の変動は、「利益剰余金」が129百万円減少したことと、株式会社プライムダイレクトを完全子会社とする株式交換を実施したことにより、「資本剰余金」が33百万円増加し、「自己株式」が36百万円減少したことによります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年1月7日に公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」に変更はありません。なお、上記の予想は、当社が現時点で把握可能な情報から判断する一定の前提に基づいた見込みであり、多分に不確定な要素を含んでおります。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

当社は、平成26年8月19日開催の取締役会において、株式会社プライムダイレクトを完全子会社とすることを決議し、同日付で両社の間で株式交換契約を締結いたしました。本契約に基づき、当社は平成26年9月10日に株式会社プライムダイレクトが発行する全株式を取得いたしました。これにより同社を第2四半期連結会計期間から連結の範囲に含めております。なお、事業セグメントはメーカーベンダー事業に含めております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益又は損失に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年5月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年11月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	98,568	96,107
受取手形及び売掛金	2,149,329	2,342,991
商品及び製品	1,226,277	1,248,130
原材料及び貯蔵品	4,687	6,900
その他	157,382	148,357
貸倒引当金	△2,059	△1,883
流動資産合計	3,634,186	3,840,604
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	171,592	177,367
土地	80,216	80,216
その他(純額)	30,301	32,256
有形固定資産合計	282,111	289,841
無形固定資産		
のれん	—	61,574
その他	63,707	62,677
無形固定資産合計	63,707	124,251
投資その他の資産		
その他	455,595	458,495
貸倒引当金	△10,526	△10,516
投資その他の資産合計	445,069	447,979
固定資産合計	790,887	862,072
資産合計	4,425,074	4,702,676
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	968,538	1,014,773
短期借入金	450,000	730,000
1年内返済予定の長期借入金	307,126	333,381
ポイント引当金	7,199	7,369
返品調整引当金	13,581	9,931
その他	516,866	499,257
流動負債合計	2,263,310	2,594,711
固定負債		
長期借入金	485,699	487,162
退職給付に係る負債	78,417	74,746
役員退職慰労引当金	113,905	117,468
その他	3,560	7,956
固定負債合計	681,582	687,333
負債合計	2,944,892	3,282,045

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年5月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年11月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	401,749	401,749
資本剰余金	331,989	365,001
利益剰余金	821,443	691,964
自己株式	△75,730	△38,938
株主資本合計	1,479,452	1,419,777
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	729	853
その他の包括利益累計額合計	729	853
純資産合計	1,480,181	1,420,631
負債純資産合計	4,425,074	4,702,676

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年6月1日 至平成25年11月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年6月1日 至平成26年11月30日)
売上高	5,808,743	5,590,375
売上原価	3,538,014	3,379,967
売上総利益	2,270,728	2,210,408
販売費及び一般管理費	2,273,761	2,287,575
営業損失(△)	△3,032	△77,167
営業外収益		
受取利息	97	124
受取手数料	1,860	1,861
為替差益	—	593
その他	1,429	876
営業外収益合計	3,387	3,456
営業外費用		
支払利息	4,358	4,914
為替差損	755	—
その他	742	—
営業外費用合計	5,856	4,914
経常損失(△)	△5,501	△78,624
特別損失		
固定資産除却損	—	3,613
減損損失	15,095	4,751
特別損失合計	15,095	8,364
税金等調整前四半期純損失(△)	△20,596	△86,989
法人税等	35,034	10,465
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△55,631	△97,454
四半期純損失(△)	△55,631	△97,454

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年6月1日 至平成25年11月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年6月1日 至平成26年11月30日)
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△55,631	△97,454
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	419	124
その他の包括利益合計	419	124
四半期包括利益	△55,212	△97,330
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△55,212	△97,330

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年6月1日 至平成25年11月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年6月1日 至平成26年11月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純損失(△)	△20,596	△86,989
減価償却費	36,779	27,967
減損損失	15,095	4,751
のれん償却額	—	4,544
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△7,762	△186
退職給付引当金の増減額(△は減少)	4,957	—
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	—	△3,670
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	3,737	3,562
ポイント引当金の増減額(△は減少)	151	170
返品調整引当金の増減額(△は減少)	2,983	△3,650
受取利息及び受取配当金	△97	△124
支払利息	4,358	4,914
固定資産除却損	—	3,613
為替差損益(△は益)	1,420	139
売上債権の増減額(△は増加)	△381,871	△193,661
たな卸資産の増減額(△は増加)	△62,013	△24,065
仕入債務の増減額(△は減少)	169,243	46,235
未収消費税等の増減額(△は増加)	△377	△830
未払消費税等の増減額(△は減少)	△6,872	2,741
その他の資産の増減額(△は増加)	△36,179	11,944
その他の負債の増減額(△は減少)	36,375	△1,841
その他	6	—
小計	△240,663	△204,435
利息及び配当金の受取額	97	124
利息の支払額	△3,939	△4,715
法人税等の支払額	△88,060	△34,484
法人税等の還付額	7,058	—
営業活動によるキャッシュ・フロー	△325,508	△243,510
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△8,218	△26,570
無形固定資産の取得による支出	△13,877	△7,516
関係会社株式の取得による支出	△20,000	—
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	—	△1,500
貸付けによる支出	△27,300	—
貸付金の回収による収入	5,714	8,059
差入保証金の差入による支出	△238	△4,339
差入保証金の回収による収入	2,759	—
その他	△2,857	△2,861
投資活動によるキャッシュ・フロー	△64,018	△34,729

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成25年6月1日 至 平成25年11月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成26年6月1日 至 平成26年11月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	360,000	280,000
長期借入れによる収入	100,000	200,000
長期借入金の返済による支出	△165,697	△172,282
自己株式の処分による収入	16,300	—
配当金の支払額	△31,562	△31,798
財務活動によるキャッシュ・フロー	279,040	275,919
現金及び現金同等物に係る換算差額	△1,420	△139
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△111,906	△2,460
現金及び現金同等物の期首残高	189,538	98,568
現金及び現金同等物の四半期末残高	77,631	96,107

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、平成26年8月19日開催の取締役会に基づき、平成26年9月10日付で、株式会社プライムダイレクトを完全子会社とする株式交換を実施しました。これにより、当第2四半期連結累計期間において、資本剰余金が33百万円増加し、自己株式が36百万円減少しております。この結果、当第2四半期連結会計期間末において資本剰余金が365百万円、自己株式が38百万円となっております。